

携帯電話を使った茶畑の監視・制御システムを開発

(株)日本計器鹿児島製作所，(株)NTTドコモ九州鹿児島支店及び当センターの3者は，県の「平成16年度鹿児島県電子産業産学官共同研究開発補助金」を利用して，表題のシステムを共同開発しました。開発したシステムは，携帯電話(FOMA)を用いて，遠隔地の茶畑の状況をライブ映像で監視するとともに，茶畑に設置した防霜ファンの遠隔制御を可能にするものです。

特徴は，携帯電話で，昼夜を問わずいつでも，どこでも現地の状況をライブ映像で確認できます。

茶畑の地表付近の温度変化をセンサーが感知して，設定温度以下になると，防霜ファンの作動状況を確認できる動画を携帯電話に送信します。ユーザは，防霜ファンの作動状況を映像で確認しながら，携帯電話から防霜ファンを遠隔制御でき

ます。

(株)日本計器鹿児島製作所では本年度中の商品化を目指しています。



(社)工業倶楽部福祉部会が当センター開発の入浴補助装置を見学



(社)鹿児島県工業倶楽部福祉部会が平成17年5月16日に当センターで開催され，12名の会員が参加しました。当センターでは，入浴介助用の福祉機器として，入浴補助足上げ機構装置を研究開発しており，その試作機について，実演と解説を行いました。また，会員に実際に使用してもらい，装置の使い勝手や仕様等について，興味ある質問が寄せられました。

工業技術センターの特許が登録

出願をしていました「微小金属複合中空体およびその製造方法(シラス芯材)(特許第3664384号)」と「微小金属複合中空体およびその製造方法(シラスバルーン芯材)(特許第3664385号)」が平成17年4月8日にそれぞれ特許として登録されました。

シラスやシラスバルーンを芯材とし，これに金属被覆を施し，更に加熱することにより得られる

内部が中空の微小な真球状の金属球体(マイクロ・メタル・バルーン(略称：MMB))，およびこれを製造する方法についての特許で，通常歪な形状であるシラスやシラスバルーンを，内部の中空状態を保持しつつ，真球状に整形する技術です。

特許の詳細等につきましては，企画情報部までご連絡下さい。